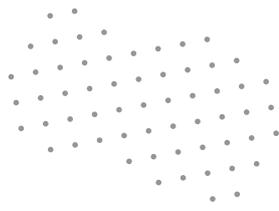


RECRUIT BOOK



誰もが安心して
自分らしく暮らせる地域社会へ



ほら、
よこはまは
あったかい

社会福祉
法人

横浜市社会福祉協議会

活動理念

誰もが安心して自分らしく暮らせる
地域社会をみんなで作ります

70年以上の歴史がある横浜市社協。

"地域福祉の推進役"として、横浜市の皆さまとともに、
一人ひとりの困りごとを受け止め、
支えあえるまちづくりを進めています。

Activity philosophy

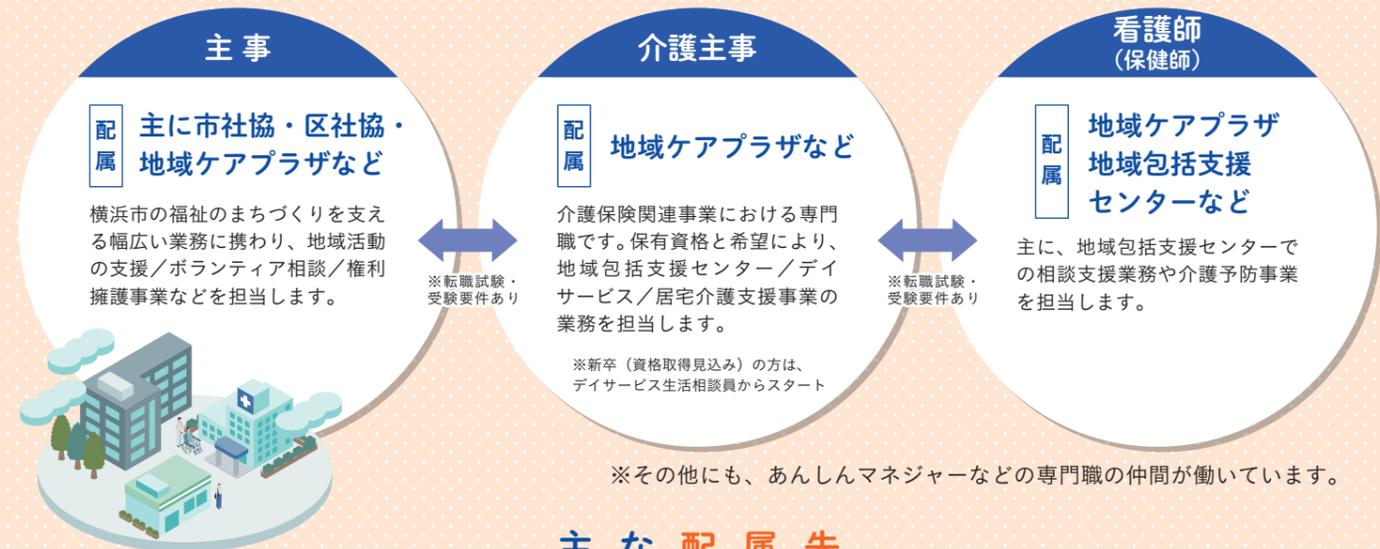
社会福祉協議会（社協）って？

社会福祉法に基づき、地域福祉の推進を目的として、
全国の自治体ごとに組織されています。
地域の住民や福祉関係機関と連携し、
福祉のまちづくりを目指す取組をはじめ、
子ども・高齢者・障害者等の支援、ボランティア活動の推進、
福祉サービス相談対応などを行っています。

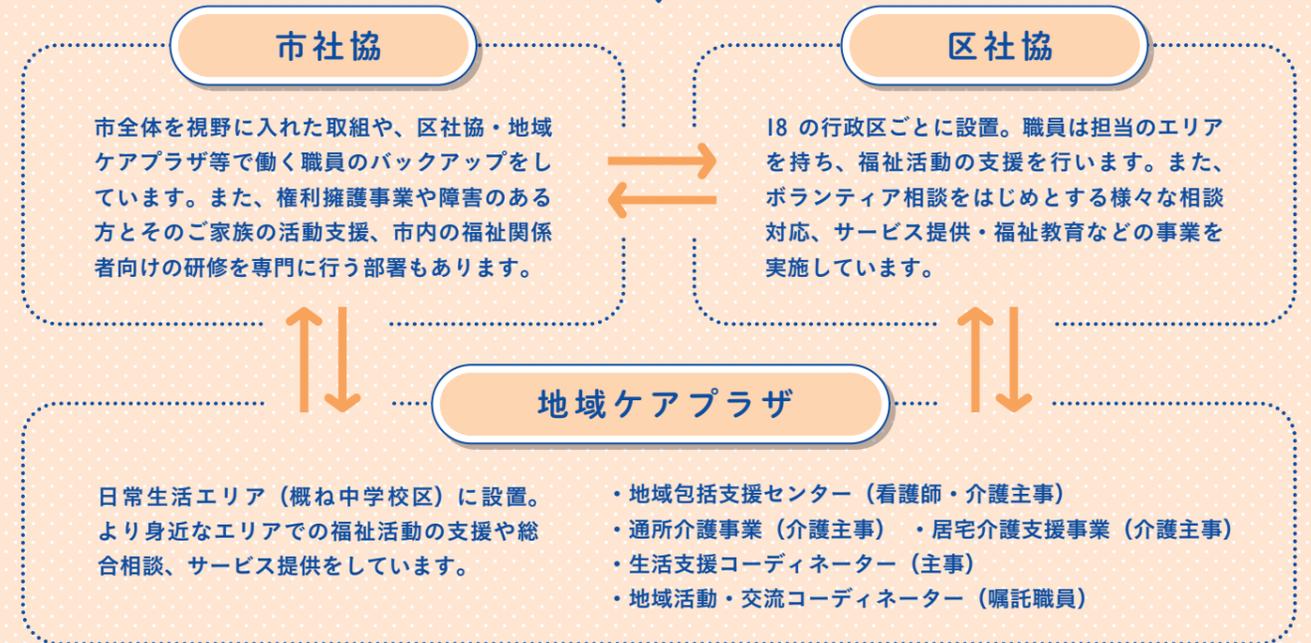
配属先と キャリア

市内の福祉活動に幅広く携わる約50の部署があり、
全国にある社協の中でも最大規模となる約1,500人(非常勤含む)の仲間がいます。
異動を通じて多様な経験を積み、キャリアの幅を広げつつ、
地域福祉の専門性を極めることが可能です。

主な職種（正規職員）



主な配属先



人事異動の 流れ

step
01
意向確認

自身のキャリア
プランを踏
まえ、意向調
書を作成

step
02
面談

意向や今後の
キャリアプラン
を、上司と
共有

step
03
異動

新しい職場で
経験を積み、
キャリアを広
げる





所属 区社会福祉協議会
 入職 2025年4月
 職種 主事
 ボランティアセンター担当
 A地区・B地区 地区担当

🕒 1日のスケジュール

- 8:45 出勤 メール等のチェック
- 9:30 担当地区のケアプラザに出向き地域の方との情報交換
- 11:00 事務所に戻り午前中の記録を作成、打合せに向けた資料づくりなど
- 12:00 昼休み
- 13:00 ボランティア講座の打合せ
- 15:00 窓口にてボランティア相談の対応、その後の調整など
- 17:15 退勤



先輩からひとこと



控えめな性格ですが、内なる情熱がしっかりあって、それが言葉や行動に表れています。困った時は周りに相談しながら、地域の方にしっかりと向き合う姿勢が信頼を生んで、頼もしく成長しています。今の明るさや元気を大切に、これからも経験を積み、ますます周りに愛される職員になってほしいです。



所属 地域ケアプラザ
 入職 2025年4月
 職種 介護主事
 デイサービス生活相談員

🕒 1日のスケジュール

- 8:45 出勤・申し送り ※介護業務の日もあります。
- 9:00 送迎対応
- 10:30 事務作業(日誌、広報紙など)
- 12:00 フロア(配膳、食事介助など)
- 12:30 昼休み
- 13:30 担当者会議や契約など
- 15:20 送迎対応
- 16:00 ケアマネジャー、利用者家族へ電話
- 16:30 申し送り
- 17:15 退勤



先輩からひとこと



物おじしない姿勢が良いところだと思います。お願いした仕事は、何事も前向きに取り組んでくれてますし、ご利用者様との関係も良好で、楽しそうに会話している姿が印象的です。まずは業務をしっかり身につけながら、リーダーの動きや地域ケアプラザ全体の流れにも目を向け、成長し続けてほしいです。

Q1 横浜市社協を選んだ理由

学生時代のボランティア活動を通して、地域にも自分が活躍できる場所があることを知り、地域をフィールドにした仕事に関心を持ちました。政令指定都市の中でも最大規模の横浜だからこそ、幅広いネットワークの中で多くの方と関わりながら働けるのではないかと感じ、入職を決めました。

大好きな横浜で地域の方々に寄り添いながら、ともに歩んでいける職員になりたいと思っています。

Q3 働き始めて感じたこと

一言で「地域の人」といっても、退職後の方、不登校・引きこもり支援の団体、障害のある方など、業務を通して関わる相手は本当に幅広いと実感しています。地域福祉全般に関わるからこそ、自分の視野も広がっていいかなと思います。

地域の会長さんたちに会う前は「どんな方かな？」と緊張していましたが、実際にお話してみると、皆さんとても優しく、温かい方々ばかりです。

Q2 担当業務について

ボランティアセンターの担当で、退職後の男性のつながりづくりを目的とした講座「セカンドライフ大学校」を開催しました。地域の方と一緒に作ったチラシが町内の掲示板に貼られているのを見つけた時や、「このチラシを見て応募しました」と声を掛けられた時に、地域の皆さんに思いが届いたことを実感し、大きなやりがいを感じました。

地域との関わりがなかった方が、講座をきっかけに一步踏み出し、これから地域で活躍していけるように。そんな思いを込めて講座運営に取り組みました。

Message

「思いやり」ではなく「思いあい」を大切にしている職場で、明るく和やかな雰囲気の中で仕事をしています。人と人とのつながりを大事にしたい方にとっては、きっと大きなやりがいを感じられる場所だと思います！

Q1 担当業務について

地域ケアプラザでデイサービスの生活相談員として勤務し、相談対応や広報紙の作成を担当しています。広報紙を見たご利用者様が「この間のすごくよかったよ」「今度載せて」と声をかけてくださるので、すごく嬉しいです。

思ったよりも現場で介護をする機会が多く、戸惑うこともあります。介護経験はあまりないのですが、「とりあえずやってみる」ことを大切にしています。失敗しても何度でも根気よく教えていただき、安心してチャレンジできる、ありがたい環境です。

Q3 今後の目標は？

学生時代にボランティアサークルに所属していて、デイサービスを訪れる機会が多くありました。その中で高齢者と関わる面白さを学んだので、デイサービスを運営している社協を探し、応募しました。横浜市社協には様々な職種や仕事があります。デイサービスで経験を積みながら資格を取得するなどして、自分の可能性を広げたいと思っています。

Q2 ご利用者様と接する中で大切にしていること

認知症状のあるご利用者様には、同じ質問を何度受けても変わらずに答えることや、否定しないことを大切にしています。皆さんに安心して過ごしてもらいたいと思っています。

職場には、長く勤めているスタッフも多く、ご利用者様への対応等細かくアドバイスしてもらえるので、コミュニケーションがとりやすい環境です。

Message

ご利用者様だけでなく、ご家族や支援機関の方、ボランティアの方など、様々な方と関わる事ができる仕事です。コミュニケーションを取ることが好きな方には特におすすめです！



所属 区社会福祉協議会
 役職 事務局次長

経歴
 2000年度 入職 管理課 (現総務部総務課) 配属
 2004年度 A区社協
 2011年度 B区社協
 2017年度 C区社協
 2022年度 企画部企画課
 2025年度 管理職昇任/D区社協 事務局次長

Q1 やりがいを感じた瞬間

仕事を通じて出会った地域の方とのご縁は、私にとってかけがえない大切なものです。異動先で、以前一緒に仕事をした方と再会できた時は、本当に嬉しくなりました。

また、広報紙の取材で伺った「現場での困りごと」を関係機関に伝えていったところ、その声が制度見直しへとつながる大きなきっかけとなったこともあります。改善に向けて動き出す瞬間に立ち会い、思わず胸が熱くなりました。

Q2 就職から今にいたる歩みは？

最初の配属は総務部。福祉の現場に携わる仕事をイメージしていたので戸惑いもありましたが、先輩の「現場で働く人を支える大切な部署だよ」という言葉に励まされました。

4年後に念願の区社協へ異動。初の現場で悩むこともありましたが、嬉しい出会いや学びがたくさんありました。その後、産休・育休で2年ほどお休みをいただき、復帰。子育てへの理解がある職場で、とても助けられました。

今は管理職として再び区社協に戻り、これまでの経験や出会いがすべてつながっていると感じています。職場の仲間や地域の方々に支えられて、今の自分があります。



所属 企画部企画課
 役職 副部長

経歴
 2001年度 入職 老人福祉センター 配属
 2003年度 A区社協
 2009年度 地域活動部市民活動支援課
 2012年度 管理職昇任/B地域ケアプラザ所長
 2015年度 C区社協 事務局次長
 2018年度 地域活動部市民活動支援課 課長
 2021年度 横浜市役所へ派遣
 2022年度 企画部企画課 課長
 2023年度 副部長昇任

Q1 社協の仕事に惹かれた理由

学生時代から、幅広く福祉に携わる仕事をしたいと思っていました。障害の有無や世代で区切ると、どうしても支援からこぼれてしまう人が出てきてしまうからです。社協は「地域」という視点で関わるので、そういった人たちも含めて、支援が必要な人を幅広く支えられると感じました。

横浜市社協では、異動を通じて、地域支援だけでなく個別支援や組織を支える仕事にも関わることができます。多様な業務に触れることで、視野や経験を広げられるところにも魅力を感じています。

Q2 管理職になろうと思ったきっかけは？

ちょうど仕事が面白くなってきて充実していた30代前半、管理職への昇任試験のエントリーを見送った翌日に、いつも穏やかな上司が真剣な表情で思いを伝えてくれました。その言葉が胸に響き、初めて自分の将来と向き合うようになりました。

同時に、新人の頃に厳しくも温かく育ててくれた上司の姿を思い出し「次は自分が組織に貢献する番かもしれない」と感じるようになったことも、大きなきっかけのひとつです。「この人と一緒に働きたい」と思える先輩が何人もいて、そうした人たちが掛けてくれた言葉は、どれも深く心に残っています。

成長をバックアップ

職員一人ひとりの自己成長を応援し、バックアップする環境があります。

backup 01 新人育成リーダー制度

身近な先輩職員が、OJT 担当者として育成指導を行う、新人育成制度。ちょっとした不安や悩みも相談できるようサポートします。リーダーを中心に職場全体でバックアップすることで、先輩職員も新人職員も、お互いに育ちあう意識の醸成と環境整備を進めています。

backup 02 職種別連絡会や事業別の担当者会議

職種や事業ごとの担当者会議（例えば、18区のボランティアセンター担当者会議）等を通じて、同じ業務に取り組む他部署の職員とつながることができます。部署や先輩後輩関係なく相談や協力ができる、「ナナメの関係性」を大切にしています。



backup 03 研修体系

新任研修 / 3年目研修 / 6年目研修

- 社協職員としての専門性向上に向けた研修（地域福祉実践力向上研修等）
 - 階層別キャリア研修
 - 実務に関わる研修（文書・経理・ICTなど）
- ※e-ラーニングも導入

backup 04 資格取得支援

ケアマネジャーや社会福祉士など、勤務しながら資格を取得する職員も多く、サポート体制を整備しています。

- ケアマネジャー ケアプラザ勤務であれば研修費用全額負担 その他の部署の場合一部負担※
 - 社会福祉士・社会福祉主事 通信課程費用一部負担※
- ※ R7年度時点

仕事もプライベートも ～充実した福利厚生～

プライベートやライフステージの変化に、柔軟に対応できる制度があります。

充実の休暇制度

ライフステージや体調に合わせて取得しやすい休暇制度を整えています。

- 年次休暇 (4月採用の場合20日/1時間単位の取得可)
- 夏季休暇 (5日)
- 病欠休暇
- 結婚休暇
- 産前産後休暇
- 介護休暇等

育休の取得率

男女ともに100% (R6年度)

多くの職員が活用し、家庭と仕事を両立しながら働いています。

- 育児休業制度
- 育児部分休業制度 (育児短時間勤務制度)
- 介護休業制度
- 介護部分休業制度

様々な働き方の導入

子育てや介護等、それぞれの事情に応じて、働き方を選べる職場環境を整えています。

- 時差勤務 (2パターン)
- 在宅勤務制度を導入

※1日の勤務時間 7時間 30分



数字で見る横浜市社協

職員数
約**540**名
(非常勤職員は約1,000人)



男女比
3:7

育休取得率

女性 **100%**
男性 **100%**
(R6年度)



平均有給休暇
取得日数

18.5日
(夏休含む)



平均年齢

43.7歳
(R7.6時点)

神奈川県内
出身者

53%
(R6年度)



平均残業時間
(1月あたり)

8.6時間
(R6年度)



社会福祉法人
横浜市社会福祉協議会

採用情報はこちら！



ほら、よこはまは
あったかい

総務部総務課（採用担当）
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
横浜市健康福祉総合センター7階
☎045-201-2096

2026.3 発行